

婦人之友社のクラウド家計簿<kakei+>ってどんなもの？



2021.8.16.家計グループ

(1) クラウド家計簿<kakei+>誕生のいきさつ

116年前に作られた婦人之友社の「羽仁もと子家計簿」は、羽仁もと子の新家庭の悩みと工夫から生まれたもので、家庭の経済に予算の考え方を導入した、画期的なものでした。そして、今に至るまで100年を超えて多くの人に選ばれてきた、ベストセラー、ロングセラーの家計簿です。



さらに、約20年前にはパソコンで記帳でき、記帳すれば、集計してくれて、グラフ化もできる「生活家計簿」が生まれ、「家計の見える化」が一步前進しました。

けれども、「生活家計簿」はスマホでは使えず、また、夫婦で一緒に家計を考えたいときに、それぞれのパソコンから一つの家計簿につけることができませんでした。また、パソコンを買い替えたら、ソフトも入れ直し、データも古いパソコンから取り出して、入れなくてはなりません。パソコンのOSが変わったら使えなくなる可能性もあります。

そこで、2020年5月に新しく世に送り出されたのがクラウド家計簿<kakei+>です。



家計のデータはクラウド上に預けられるので、インターネットのある環境で、同じIDでログインさえすれば、外出先からスマホで、家でパソコンやタブレットで。そして、ご自分だけでなくご主人も、ご自分のスマホなどから記帳できます。夫婦で一つの家計簿データを共有して、一緒に家計を考えることができるのです。

